

「全国救急搬送データを用いた精神科疾患症状および自損行為 症例と救急車不応需の関連因子の調査」について

当センターでは、下記のと通りの臨床研究（学術研究）を実施しています。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守いたします。

なお、あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究課題名 全国救急搬送データを用いた精神科疾患症状および自損行為症例と救急車不応需の関連因子の調査

2. 研究の対象および研究対象期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日に全国救急搬送データベースに登録された症例

2. 研究目的・方法

本邦では大都市圏での搬送所要時間の検討において、自損による薬物中毒、自傷行為による負傷患者は救急搬送所要時間の延長と有意に関連があることが示されている。地方都市、地域を含めた全国規模のデータで検討した研究はなく、人口分布の違いや医師偏在が及ぼす影響を検討する意義はあると考える。本研究は精神疾患症状の患者群の中で関連のある因子を抽出、分析することで、救急医療体制改善のための問題点を明らかにするものである。

研究期間

2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

救急搬送データベースに登録された搬送記録情報

4. お問い合わせ先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

日本赤十字社和歌山医療センター 第一救急科部

研究担当医師 東 秀律

連絡先 073-422-4171（代表）（平日：9時00分～17時30分）